



# トモダチ



SIDE A デロル

panda panada

森のそうじやさん。

---

あたり、デロル。森のそうじやさん。  
森をきれいにすると、みんなよろこぶ。  
だから、デロルがんばる。

ニンゲン、ときどき森にくる。  
ニンゲンがくると、みんなかくれる。  
森のみんな、めずらしいどうぶつ。  
世界でたったひとつのどうぶつ。

だから、みつかるにつかまる。

ニンゲン帰ると、デロルいそがしい。  
ニンゲン、たくさんゴミおとすから。  
でも、デロル、いいものひろった。  
ニンゲンの本、ひろった。

デロル、この子、好き。

---

ニンゲンの女の子、いっぱい。  
かわいいの着てる。みんな笑ってる。

デロル、この子、好き。

すうごくかわいい、わらってる。  
でも、ちょっと、さびしそう。

デロル、トモダチ、なりたいな。。。

デロル、本を木にあずけた。  
そうじのあと、あの子に会いに行く。  
トモダチ、はじめてのトモダチ。  
あたちの、おもうだけの、トモダチ。。

デロル、森とさよならする。

---

いっぱい春がきて、本はもうくたくた。  
でもあたちのトモダチ、いつもわらってる。

デロル、森とさよならする。  
あたちのなかま、遠くにいた。  
白いフィーレがデロルをむかえにきた。

長い長い旅だと、フィーレはいった。  
だから、デロル、本はおいていく。  
雨がふったら、あの子、ぬれてしまうから。。。

さようなら

みんな、ありがとう。さようなら。

---

あたちはフィーレに乗った。  
森のみんなが遠くからみている。

みんな、ありがとう。さようなら。  
おそうじ、できなくて、ごめんね。

そのとき、声がした。

「待って、デロル！ わたしのトモダチ！」

ふりかえると、あの子だった。  
本からでてきた、あの子！

あの子が大きな声でいった。

「わたしも、一緒に行くわ！」